

令和3年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

第1章 みんなで未来につなぐまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
社会動態増減数	社会減 121人 <small>(過去5年間平均)</small>	社会減 114人	社会減 474人				社会減 5人 <small>(計画期間内平均)</small>
坂井市へのU・Iターン数	Uターン 35人 Iターン 16人 <small>(平成30年度)</small>	Uターン 26人 Iターン 38人	Uターン 30人 Iターン 28人				Uターン 70人 Iターン 30人 <small>(令和6年度)</small>

<基本計画および方針>

1-1 誰もが暮らしやすい共生社会の推進							事業毎の効果	
①【誰もが生き生きと暮らせる社会づくりの推進】 ②【あらゆる分野での男女共同参画とダイバーシティ（多様性の尊重）の推進】							A：0/7件	B：7/7件
							C：0/7件	D：0/7件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
「イクボス宣言企業」事業所数	58企業 <small>(平成30年度)</small>	64企業	65企業				80企業 <small>(令和6年度末)</small>	
「イクボス宣言企業」男性の育休取得事業所数	—	—	10企業				15企業 <small>(計画期間内)</small>	
女性活躍推進講座等参加人数	20人 <small>(令和元年度)</small>	34人	66人				200人 <small>(計画期間内)</small>	

<基本計画および方針>

1-2 多様な主体と連携した協働のまちづくりの推進							事業毎の効果	
①【地域の特性を活かした協働のまちづくりの推進】 ②【広報広聴など市民との対話の充実】							A：5/11件	B：5/11件
							C：1/11件	D：0/11件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
まちづくりカレッジ修了者数	23人 <small>(平成30年度) (過去3年累計)</small>	19人	16人				60人 <small>(計画期間内)</small>	

<基本計画および方針>

1-3 国際・都市間交流の推進							事業毎の効果	
①【国際交流を通じたグローバル人材の育成と多文化共生意識の醸成】 ②【都市間交流を通じた地域の活性化とシビックプライドの醸成】							A：5/6件	B：0/6件
							C：1/6件	D：0/6件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
地域ブランド調査 魅力度順位 (ブランド総合研究所)	872位 <small>(平成30年度)</small>	929位	878位				500位以内 <small>(令和6年度)</small>	

<基本計画および方針>

1-4 関係人口の拡大と住みよさの実感						事業毎の効果	
①【次世代の担い手育成と関係人口の拡大】 ②【魅力ある地域づくりの推進】 ③【住みよさを高める環境の整備】 ④【坂井市に住みたくなる魅力を全国に発信】						A: 8/19件	B: 8/19件
						C: 3/19件	D: 0/19件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
高校生アンケート 坂井市への定住希望率	28.5% (平成30年度)	36.0%	28.7%				35% (令和6年度)
Tキャンプ参加者数	134人 (平成30年度) (過去3年累計)	54人	54人				300人 (計画期間内)
三国湊・丸岡城下町における空き 家リノベーション件数	9件 (平成30年度) (過去7年累計)	2件	2件				10件 (計画期間内)
結婚へのきっかけ創出の事業実施 数	33件 (平成30年度) (過去8年累計)	2件	3件				25件 (計画期間内)
子育て世帯(15歳未満の子がいる 世帯)の転入数	190世帯 (平成30年度)	174世帯	163世帯				200世帯 (令和6年度)
地域ブランド調査 居住意欲度順位 (ブランド総合順位)	843位 (平成30年度)	966位	918位				500位以内 (令和6年度)

<基本計画および方針>

1-5 効率的な行財政運営の推進						事業毎の効果	
①【効率的な組織体制・人員配置の構築】 ②【安定した財源確保と持続可能な財政運営】 ③【公共施設の適正なマネジメント】						A: 9/18件	B: 9/18件
						C: 0/18件	D: 0/18件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
RPAにより、事務作業が自動化さ れた数	1件 (平成30年度)	0件	6件				10件 (計画期間内)

<市自己評価(事業毎の効果と総括)>

A.効果あり	27/61件	基本構想対象の事業61件のうち、効果ありの事業は27件で、4割強が共生・協働の社会に向け寄与しております。坂井市へのUIターン の人数はほぼ横ばいではありますが、社会動態については減少傾向と なっています。共生社会の一つに女性活躍の社会への推進が重要で ありますが、イクボス宣言を広めるだけでなく、男性の家事への参 加を通じて女性の社会活動への参加を促していく必要があります。 また協働のまちづくりの推進にはまちづくりカレッジ等による人材 育成を含め人口減少の中、地域課題に対応できるような持続できる まちづくりの取組みが必要であります。
B.将来的な効果あり	29/61件	
C.小さい効果あり	5/61件	
D.未着手	0/61件	

<外部有識者評価>

1.効果あり	今までも、またこれからも住み続ける自分たちの地域を、自分たちで考え、より 良い地域にしようとまちづくり協議会を通して多くの人が取り組まれていると実 感している。一方で、その取り組みに対し足の踏んでいる人たちも見受けら れる。より多くの人がまちづくりに興味を持ち、参画できるように促すことで、 より良いまちづくりへと繋がると思われる。またまちづくりに重要なシビックプ ライドの醸成にも継続して取り組んでいただきたい。
2.将来的な効果あり	
3.小さい効果あり	



令和3年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

第2章 互いに思いやり支え合うまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
出生数	684人 <small>(過去5年間平均)</small>	537人	605人				720人 <small>(計画期間内平均)</small>
健康寿命	男性 79.70歳 女性 84.03歳 <small>(平成30年度)</small>	男性 79.99歳 女性 84.64歳	男性 80.07歳 女性 84.71歳				男性 81歳 女性 85歳 <small>(令和6年度)</small>

<基本計画および方針>

2-1 地域福祉の充実							事業毎の効果	
①【安心して暮らせる地域共生社会づくりの推進】 ②【地域主体で取り組む地域福祉推進体制の充実】 ③【多機関の協働による包括的支援体制の構築】							A：3/6件	B：3/6件
							C：0/6件	D：0/6件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
地域力強化推進事業実施地区	累計1地区 <small>(平成30年度)</small>	0地区	8地区				累計20地区 <small>(計画期間内)</small>	

<基本計画および方針>

2-2 児童福祉の充実							事業毎の効果	
①【幼児教育及び保育環境の充実】 ②【安心できる子育て支援の充実】 ③【子育て相談及び支援体制の充実】							A：42/45件	B：2/45件
							C：1/45件	D：0/45件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
保育園待機児童ゼロの維持	待機児童ゼロ <small>(平成30年度)</small>	待機児童ゼロ	待機児童ゼロ				待機児童ゼロ <small>(令和6年度)</small>	
放課後児童クラブ待機児童ゼロの維持	待機児童ゼロ <small>(平成30年度)</small>	待機児童ゼロ	待機児童ゼロ				待機児童ゼロ <small>(令和6年度)</small>	
子育て支援アプリ利用率 <small>(登録されている0～5歳児の割合)</small>	—	11.9%	23.2%				50% <small>(令和6年度末)</small>	

<基本計画および方針>

2-3 高齢者福祉の充実							事業毎の効果	
①【身近で取り組みやすい介護予防の充実】 ②【多様な主体との連携による包括的支援体制の充実】 ③【高齢者の居場所づくりと社会参加の推進】							A：14/27件	B：13/27件
							C：0/27件	D：0/27件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
通いの場実施地区	9地区 <small>(平成30年度)</small>	6地区	7地区				20地区 <small>(令和6年度)</small>	
認知症サポーター養成講座受講人数	5,421人 <small>(平成30年度時点)</small>	6,667人	6,731人				10,000人 <small>(令和6年度末)</small>	

<基本計画および方針>

2-4 障がい者福祉の充実						事業毎の効果	
①【障がいに対する理解促進と社会的障壁の解消】 ②【障がいのある人が安心して暮らせる地域環境の整備】 ③【障がいのある人の就労の促進と社会参加への支援】						A：2/4件	B：1/4件
						C：1/4件	D：0/4件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
障がい者理解のための研修や啓発活動の実施件数	年間2件 (平成30年度)	年間3件	年間2件				年間5件 (令和6年度)
地域生活支援拠点の数	0箇所 (平成30年度)	1箇所	1箇所				累計1箇所 (令和6年度)
一般就労した障がい者の人数	年間14人 (平成30年度)	年間25人	年間18人				年間15人 (令和6年度)

<基本計画および方針>

2-5 健康づくりの推進						事業毎の効果	
①【市民の主体的な健康づくりの推進】 ②【生活習慣病の予防対策の推進】 ③【母子の健康管理体制の充実】 ④【感染症予防の総合的な推進】 ⑤【地域連携による食育の推進】						A：16/16件	B：0/16件
						C：0/16件	D：0/16件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
健康アプリダウンロード件数	—	3,968件	6,409件				1,000件 (令和6年度)
赤ちゃん訪問実施率	91.9% (平成30年度時点)	87.4%	94.9%				95% (令和6年度)
不妊治療費助成事業利用件数	110件 (平成30年度)	123件	126件				150件 (令和6年度)

<基本計画および方針>

2-6 地域医療の充実						事業毎の効果	
①【地域医療と救急体制の充実】 ②【市立三国病院における医療体制の充実】						A：3/3件	B：0/3件
						C：0/3件	D：0/3件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
新改革プランの目標値の達成（病床利用率）	61.2% (平成30年度)	76.4%	74.5%				70% (令和6年度)

<基本計画および方針>

2-7 社会保障制度の適正運営						事業毎の効果	
①【国民健康保険の安定的な運営】 ②【後期高齢者医療の安定的な運営】 ③【介護保険事業の充実】 ④【国民年金制度の周知啓発】 ⑤【生活保護制度の適正な運用】 ⑥【生活困窮者自立支援制度の実施体制の充実】						A：6/6件	B：0/6件
						C：0/6件	D：0/6件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
生活困窮者自立支援新規相談件数	202件 (平成30年度)	364件	377件				200件 (令和6年度)

<市自己評価（事業毎の効果と総括）>

A.効果あり	86/107件	基本構想対象の事業107件のうち、効果ありの事業は86件で住民福祉の向上が進んでいると考えます。少子化の中、出生数は減少傾向ではありますが、継続的に保育園・児童クラブの待機児童ゼロを継続していくことに合わせて、保育士確保対策を強化するなど、安心して子どもを育てられる体制づくりに努めていきます。健康寿命は微増となっています。高齢者福祉について、令和3年度はコロナ禍で実施数が減少しましたが、通いの場やシニアクラブ活動を実施していくことで介護予防であったり元気に過ごすことであることに繋がるため、継続した支援が重要と考えます。障害福祉に関しては、障がい者に対する合理的な配慮が義務化されることにともない、より一層の理解促進の啓発が必要になっております。
B.将来的な効果あり	19/107件	
C.小さい効果あり	2/107件	
D.未着手	0/107件	

<外部有識者評価>

1.効果あり	保育士の確保事業について、各分野で担い手不足がある中で、児童福祉の充実にとって重要で効果的であると思われる。広報、市のイベント等での募集をしている中で、ICTを活用した就労のスタイルを周知するなど、工夫を凝らした取り組みをお願いしたい。また各福祉全般について、市民が困った事案に対しての救済的な事業が多く、そのような時に対応できる事業として、利用率ではなく、事業の有無を重要視する視点も大切であり、広く整備し、あわせて周知することも重要であると考えます。
2.将来的な効果あり	
3.小さい効果あり	



令和3年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

第3章 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930人 (平成30年度)	224,555人	275,001人				450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682人 (平成30年度)	211,542人	342,963人				480,000人 (令和6年度)

<基本計画および方針>

3-1 学校教育の充実							事業毎の効果	
①【教育内容の充実】 ②【個に応じた学習支援の充実】 ③【就学指導体制・教育相談体制の充実】 ④【安全な教育環境の整備】 ⑤【安全で安心な学校給食の充実】							A: 16/19件	B: 3/19件
							C: 0/19件	D: 0/19件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
大規模改造工事実施小学校数	毎年2校 (平成30年度)	2校	2校				毎年2校 (令和6年度)	
学校へのタブレット端末 導入台数（累計）	200台 (平成30年度時点)	7,688台	7,888台				500台 (令和6年度末)	

<基本計画および方針>

3-2 社会教育・生涯教育の充実							事業毎の効果	
①【社会教育と地域づくりの活動の一体的な推進】 ②【コミュニティセンターを拠点とした集い・学び・結ぶ環境づくり】 ③【地域で育て・見守り・支える青少年の育成】 ④【図書館機能の充実】							A: 11/14件	B: 2/14件
							C: 1/14件	D: 0/14件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
コミュニティセンターで開催され た講座数	332講座 (平成30年度)	288講座	290講座				350講座 (令和6年度)	
コミュニティセンターで開催され た講座の参加者数	24,262人 (平成30年度)	11,217人	12,235人				26,000人 (令和6年度)	
市立図書館貸出冊数	860,183冊 (平成30年度)	622,630冊	817,456冊				880,000冊 (令和6年度)	

<基本計画および方針>

3-3 歴史・文化・芸術の伝承と振興							事業毎の効果	
①【文化財の保存と活用】 ②【文化芸術活動の振興】							A: 6/13件	B: 7/13件
							C: 0/13件	D: 0/13件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
丸岡城入場者数	128,158人 (平成30年度)	69,616人	65,753人				150,000人 (令和6年度)	
みくに龍翔館来館者数 (館外活動参加者等を含む)	11,166人 (平成30年度)	5,516人	—				30,000人 (令和6年度)	

<基本計画および方針>

3-4 生涯スポーツの振興						事業毎による効果	
①【スポーツ・レクリエーションの振興推進】 ②【トップアスリートの育成】 ③【体育施設の効率的な管理運営】 ④【スポーツツーリズムの促進】						A : 6/7件	B : 0/7件
						C : 1/7件	D : 0/7件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
坂井市民スポーツ祭等参加者延べ人数	9,397人 (平成30年度)	1,166人	497人				11,500人 (令和6年度)
スポーツ推進委員主幹教室・大会参加者数	93人 (平成30年度)	0人	76人				150人 (令和6年度)

<市自己評価（事業毎の効果と総括）>

A.効果あり	39/53件	基本構想対象の事業53件のうち、効果ありの事業は39件で、7割強の事業で学ぶ意欲を支えるまちづくりに寄与していると考えます。基本構想の数値目標についてはコミュニティーセンター年間利用者および市立図書館年間来館者数ともにコロナウイルスの影響があった令和2年度の数値からは復調の様子ができてきております。小中学校では、GIGAスクール構想によるタブレットを活用した学びを行っております。引き続き家庭へ持ち帰り、学習を行うことに対応するなど有効に活用することが重要であり、あわせて情報モラル教育に取り組む必要があります。文化財の保存・活用については、市内文化財の総合的な保存・活用を図るための「坂井市文化財保存活用地域計画」に基づき、まちづくり、学校教育、社会教育、観光分野とともに連携して進めていきます。
B.将来的な効果あり	12/53件	
C.小さい効果あり	2/53件	
D.未着手	0/53件	

<外部有識者評価>

1.効果あり	教育分野においてもコロナの影響が続いており、来館者数はコロナ前に比べ減少が著しい。しかしながら貸出冊数についてはその差は小さいものになってきており、家庭内での学びのコンテンツとしての利活用が進んでいると考えられる。タブレットについては全小中学校に整備が完了し、授業で活用されており、子どもたちの学びが充実していると思われる。コロナ禍において、自宅待機の場合でも有用であると考えられる。一方で公共施設外の通信環境やご家族のITリテラシーが十分でない場合、教育の機会が不利にならないよう、取り組みが求められる。また、教育現場における教員の労働条件・環境について、国や県と連携しつつ、市として改善に取り組める部分は積極的に対処することが、学校教育の充実に繋がっていくと思われる。
2.将来的な効果あり	
3.小さい効果あり	



令和3年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

第4章 自然と共生できるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
クリーンキャンペーン参加者数	9,526人 <small>(過去5年間平均)</small>	—	5,580人				10,000人 <small>(計画期間内平均)</small>

<基本計画および方針>

4-1 自然環境の保全と共生							事業毎の効果	
①【豊かな自然と共生する社会づくりの推進】 ②【環境について自ら考え行動できる人づくりの推進】 ③【地球温暖化対策の推進】							A：3/5件	B：0/5件
							C：2/5件	D：0/5件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
環境講座開催数	7回 <small>(平成30年度)</small>	0回	5回				8回 <small>(令和6年度)</small>	

<基本計画および方針>

4-2 循環型社会の構築							事業毎の効果	
①【ごみの減量化及び再資源化の推進】 ②【不適正処理の防止】							A：2/2件	B：0/2件
							C：0/2件	D：0/2件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
1人1日あたりのごみ排出量	875g <small>(平成30年度)</small>	844g	825g				808g <small>(令和6年度末)</small>	

<基本計画および方針>

4-3 生活環境の保全と充実							事業毎の効果	
①【公害防止対策の推進】 ②【良好な生活環境の維持・保全】							A：0/2件	B：2/2件
							C：0/2件	D：0/2件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
条例等で定められた規制値の超過企業数	4件 <small>(平成30年度)</small>	3件	8件				0件 <small>(令和6年度末)</small>	

<基本計画および方針>

4-4 美しい景観資源の活用							事業毎の効果	
①【ふるさとも感じられる景観の継承】 ②【未来につながる美しい景観の創造】							A：1/3件	B：2/3件
							C：0/3件	D：0/3件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
景観まちづくり事業補助事業活用件数	3件 <small>(平成30年度)</small>	4件	3件				11件 <small>(令和6年度)</small>	

<市自己評価（事業毎の効果と総括）>

A.効果あり	6/12件	基本構想対象の事業12件のうち、効果ありの事業は6件で、半数の事業が将来の坂井市の持続可能な環境への取り組みが図られていると考えます。令和3年度にはクリーンキャンペーンや環境講座等が再開されたことで、市民の環境問題への関心や学びについて一定の確保ができていると考えます。雑がみや小型家電回収により循環型社会への関心だけでなく、地域の美化にも繋がっております。また温暖化対策の推進として、ゼロカーボンシティ宣言を行っており、再生可能エネルギーを最大限導入するとして「坂井市脱炭素ロードマップ」の策定を進めております。環境に対する意識については、継続的に啓発していく必要があります。
B.将来的な効果あり	4/12件	
C.小さい効果あり	2/12件	
D.未着手	0/12件	

<外部有識者評価>

1.効果あり	環境問題に対する啓発活動については、一朝一夕で行われるものでなく、地道な活動が重要な中、漂着ごみや海洋プラスチックなどに対する取り組み等、国や県の動向に関連性をもちながら進めていくことが効果的だと思われる。ゼロカーボンシティの実現のため、脱炭素ロードマップを進めているとのことであるが、各自治体でも進み始めており、坂井市版での今後の方向性や取り組みに注視したい。 新幹線延伸に向け、良好な景観の保全是坂井市のおもてなしにつながることであり、屋外広告物の許可事務について、新規の広告物の規制だけでなく、既存の広告物についても改善を誘導する取り組みも大事だと思われる。
2.将来的な効果あり	
3.小さい効果あり	



令和3年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

第5章 地域資源を活かし活力に満ちたまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
製造品出荷額等	2,878億円 (平成30年度)	3,038億円	—				3,100億円 (令和6年度)
観光客入込客数	523万人 (平成30年度)	336万人	292万人				600万人 (令和6年度)

<基本計画および方針>

5-1 農林水産業の振興							事業毎の効果	
①【持続可能な農林水産業の推進】							A: 66/73件	B: 4/73件
②【農地・森林の環境の保持】								
③【安全・安心な地場産物の消費拡大と付加価値向上】							C: 2/73件	D: 1/73件
④【農林水産物を活用した観光・交流の推進による地域振興】								
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
新規就農者数	4人 (平成30年度)	0人	1人				25人 (計画期間内)	
認定農業者数	214経営体 (うち法人42) (平成30年度)	206経営体 (うち法人49)	206経営体 (うち法人49)				300経営体 (うち法人50) (令和6年度末)	
漁業生産量（底引き網漁業、沿岸漁業の合計）	532トン (平成24 ～28年度平均)	400トン	384トン				535トン (令和6年度)	
底びき網漁船隻数	10隻 (平成30年度)	9隻	9隻				10隻 (令和6年度)	
沿岸漁業者数	122人 (平成30年度)	123人	104人				122人 (令和6年度)	
坂井地区木材出荷量（材積）	14,500m ³ /年 (令和元年度)	—	25,693m ³ /年				18,500m ³ /年 (令和6年度)	
農家レストラン・農産物直売所の来客数	108,918人 (平成30年度)	101,837人	92,235人				156,000人 (令和6年度)	

<基本計画および方針>

5-2 商工業の振興							事業毎の効果	
①【商業経営の安定化と魅力ある地元商店街の形成】							A: 4/7件	B: 2/7件
②【地域に根差す産業の支援の充実】								
③【企業誘致の推進、新規産業の創出支援】							C: 1/7件	D: 0/7件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
空き店舗の活用による開業支援件数	1件 (平成30年度)	0件	1件				15件 (計画期間内)	
生産性・サービス向上講座の開催回数（異業種連携）	19回 (平成30年度現在)	16回	15回				20回 (計画期間内)	
企業誘致件数	3件 (平成30年度)	5件	7件				15件 (計画期間内)	

<基本計画および方針>

5-3 観光の振興						事業毎の効果	
①【観光資源・地域資源の魅力向上と多様な観光ニーズへの対応】 ②【広域交通網の活用推進】 ③【インバウンドの受け入れ体制の整備】 ④【観光情報の整理と効果的な発信】 ⑤【観光地域づくりのための組織形成と人材育成】						A: 17/28件	B: 7/28件
						C: 4/28件	D: 0/28件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
国内宿泊客数	186,707人 (平成29年度)	151,693人	159,566人				200,000人 (令和6年度)
外国人宿泊客数	4,987人 (平成30年度)	543人	117人				20,000人 (令和6年度)

<基本計画および方針>

5-4 働く環境の充実						事業毎の効果	
①【雇用・就労機会の確保と労働環境の充実】 ②【多様な人材の確保や柔軟な働き方の実現】						A: 5/8件	B: 3/8件
						C: 0/8件	D: 0/8件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
インターンシップ受け入れ企業数	12社 (平成30年度)	8社	8社				15社 (令和6年度)
坂井市シルバー人材センター登録者数	1,095人 (平成30年度)	1,046人	995人				1,350人 (令和6年度)
給与収入者数 (60歳以上)	11,474人 (平成30年度)	12,109人	12,273人				12,500人 (令和6年度)

<市自己評価 (事業毎の効果と総括)>

A.効果あり	92/116件	基本構想対象の事業116件のうち、効果ありの事業は92件で、農林水産業、商工業および観光業の振興に概ね寄与していると考えます。持続可能な農林水産業の推進のため、経営の安定および所得向上に繋がる補助事業等を行っていますが、厳しい状況であると受けとめております。少子高齢化の中、担い手についても農地の集積や新規就農者への支援を引き続き行うことで、農業・農村を次世代へと繋げていく必要があります。人口減少や電子商品取引が進んでおり、またコロナウイルス感染症の拡大も重なり、地域の商業経営への影響が大きいことから、経営の安定化への支援が必要となっております。観光についても、コロナウイルスの影響は大きく、観光客数などは減少しております。コロナ禍の収束や新幹線の敦賀延伸を見据え、坂井市の観光地である東尋坊再整備や丸岡城周辺整備が重要となっております。
B.将来的な効果あり	16/116件	
C.小さい効果あり	7/116件	
D.未着手	1/116件	

<外部有識者評価>

1.効果あり	認定農業者制度により、農業の振興が図られている中、農業者や組織の高齢化が進んでおり、担い手不足は否めないと思われる。県の園芸カレッジ等や坂井高校との連携等により、新規就農者の増加・定着に期待したい。観光について、数値でも顕著に現れているとおり、コロナ禍の影響は大きいと思われる中、新幹線延伸が迫っており、関東圏との繋がりにより福井県全体として注目されることで、関西・中京方面からも注目されることが期待でき、広域的な観光や、交通インフラが重要であると思われる。商工については、空き店舗活用による開業支援件数は厳しいものであるが、開業者数自体は増えていると感じられる。雇用関係では、コロナ禍の影響により採用活動が控えられてはいるが、長い目でみると人口減少の傾向であるため、若年者労働力確保や女性のキャリア形成など労働力の確保が課題になるとと思われる。
2.将来的な効果あり	
3.小さい効果あり	



令和3年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

第6章 安全で快適な暮らしを支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
人口集中地区の人口密度	3,934人/㎢ (平成27年度)	3,934人/㎢ (平成27年度)	3747人/㎢ (令和2年度)				4,000人/㎢ (令和6年度)

<市自己評価（事業毎の効果と総括）>

6-1 災害に強いまちづくりの推進							事業毎の効果	
①【治山・治水対策による災害の未然防止】 ②【総合的かつ計画的な防災・減災対策の推進】 ③【災害に強い市民の育成と防災機能の強化】 ④【地域コミュニティによる安全・安心の構築】 ⑤【国民保護対策の充実】							A：4/16件	B：11/16件
							C：1/16件	D：0/16件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
自主防災組織結成地区数	281地区 (平成30年度)	291地区	292地区				440地区 (計画期間内)	
坂井市防災訓練参加人数	18,197人 (平成30年度)	430人	481人				25,000人 (令和6年度)	

<基本計画および方針>

6-2 安全・安心対策の充実							事業毎の効果	
①【防犯対策の充実】 ②【消費者の自立支援と被害の未然・拡大の防止】 ③【交通事故による被害が少ない環境の創出】							A：4/7件	B：3/7件
							C：0/7件	D：0/7件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
交通事故死者数	3件 (平成30年度)	3件	3件				0件 (令和6年度)	
さかいドライブレコーダー見守り協力隊（ドラレコ隊）加入件数	800件 (平成30年度)	1,000件	1,029件				1,800件 (令和6年度)	

<基本計画および方針>

6-3 住環境の整備							事業毎の効果	
①【適正な土地利用の推進】 ②【快適な居住環境の創出】 ③【誰もが安心して利用できる公園・緑地の整備】							A：4/8件	B：4/8件
							C：0/8件	D：0/8件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
空き家バンク登録数	68件 (平成30年度)	32件	26件				90件 (計画期間内)	
坂井市空き家情報バンクに登録されている空き家の活用件数	5件 (平成30年度)	16件	21件				30件 (計画期間内)	

<基本計画および方針>

6-4 安定した水の供給と良好な水環境の維持						事業毎の効果	
①【安全・安心な水の安定した供給】 ②【下水道施設の整備・管理と接続促進】 ③【上下水道事業の経営健全化】						A：8/8件	B：0/8件
						C：0/8件	D：0/8件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
上水道管の耐震化率	48% (平成30年度)	48.5%	48.6%				60% (令和6年度)
下水道の水洗化率	92% (平成30年度)	93.2%	93.7%				95% (令和6年度)

<基本計画および方針>

6-5 暮らしを支える道路網の整備						事業毎の効果	
①【広域的な道路網の整備】 ②【生活道路の計画的な整備】 ③【地域ぐるみによる除雪体制の強化】						A：8/8件	B：0/8件
						C：0/8件	D：0/8件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
橋梁修繕数（累計）	2件 (過去5年累計)	27件	0件				42件 (計画期間内)
橋梁点検数（累計）	615件 (過去5年累計)	43件	224件				615件 (計画期間内)

<基本計画および方針>

6-6 地域公共交通と広域ネットワークの充実						事業毎の効果	
①【地域公共交通の充実と利用促進】 ②【広域交通ネットワーク拠点の充実】						A：5/11件	B：5/11件
						C：1/11件	D：0/11件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
えちぜん鉄道乗客数 （1日平均9駅合計）	1,219人 (平成30年度)	888人	985人				1,300人 (計画期間内)
コミュニティバス利用者数	90,118人 (平成30年度)	62,250人	61,412人				91,000人 (令和6年度)

<基本計画および方針>

6-7 情報ネットワーク社会の構築						事業毎の効果	
①【ICTによる行政サービスの向上と効率的な行政運営】 ②【ICTを活用した利便性の高い生活環境の実現】						A：5/5件	B：0/5件
						C：0/5件	D：0/5件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
福井県電子申請サービスを利用した手続の件数	20件 (平成30年度)	29件	56件				50件 (令和6年度)

<市自己評価（事業毎の効果と総括）>

A.効果あり	38/63件	基本構想対象の事業63件のうち、効果ありの事業は38件で、将来に効果が期待できる事業が23件であり継続的な事業も含め、安全で快適な暮らしを支えるまちづくりに各種事業が繋がっていると考えます。自主防災組織数は伸びており、地域住民への災害に対する意識の醸成は着実に図られていますが、目標値には大きな開きがあり、防災訓練を通して、公助だけでなく共助、自助の大切さについての周知や防災敷材の整備支援等、継続的な取り組みが重要であると考えます。えちぜん鉄道乗客数およびコミュニティバス利用者数はコロナ禍の影響もあり目標値より下回っているところであり、少子高齢化、人口減少の中、持続可能な交通環境の実現が求められる中、運行効率等を助成したオンデマンド型交通の導入など、市民の移動手段確保について検討を進めていく必要があります。
B.将来的な効果あり	23/63件	
C.小さい効果あり	2/63件	
D.未着手	0/63件	

<外部有識者評価>

1.効果あり	空き家バンクへの登録や空き家活用は、世代交代における空き家増加防止にも有効であり、事業の継続が望ましいと考える。地域オンデマンド型交通の推進は、高齢者免許返納が進み、個人による運転減少により引きこもりや社会活動の弱体化が懸念される中で、いわゆる交通弱者にとって歓迎されると考えられる。一方で、団塊の世代が80代を超えていくとオンデマンド型交通の維持には費用が膨れ上がることも予想される。利用促進に合わせ、受益者負担について考慮するシステムも検討していく必要があると思われる。近年増えている水害に対して、交通インフラが寸断した場合の想定も視野にいれ、防災訓練や広報を通じたハザードマップ等の周知の徹底が災害に強いまちづくりの一つになると考えられる。
2.将来的な効果あり	
3.小さい効果あり	

